

413 蓄電システムを備えた災害時対応のEV充電ステーションの開発

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
ニチコン株式会社、京セラコミュニケーションシステム株式会社【平成 29 年】	2130001022029 6130001012562	その他事業者【製造業】 【情報通信業】	京都府

- ニチコン株式会社及び京セラコミュニケーションシステム株式会社は、災害時に太陽光発電システムと蓄電システムの自立運転で電力供給可能なEV充電ステーションを平成 27 年末に開発した。
- 同ステーションは京セラコミュニケーションシステム株式会社の「ソーラーサイクルステーション for EV」をベースに、ニチコン社製の 30kW 急速充電器、7.2kWh 大容量蓄電システムを付加している。「ソーラーサイクルステーション for EV」は太陽光発電システムと蓄電システムを利用し電気自動車 (EV)・PHV を充電する環境配慮型ステーションである。
- 万が一停電が起こった際にも電力供給できる点が特徴で、夜間や雨天等の場合であっても、蓄電システムで外部給電が可能となる。7.2kwh の蓄電システムが完全充電されている場合、100W の電力を 72 時間使用でき、430W の炊飯器であれば約 16 回炊飯する電力に相当する。また、同ステーションには電源 (OA タップ)、ラジオ、懐中電灯、軍手を備えた災害 BOX を付属し、災害発生時は携帯電話・スマートフォンの充電が可能で、地域の防災拠点の役割を果たすよう配慮されている。
- なお、同 2 社では市内 3 ヶ所の「道の駅・てんきてんき丹後」、「道の駅・くみはま SANKAIKAN」、「宇川温泉・よし野の里」への充電スタンドに充電器を納入した。

▲充電ステーション